

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	がん遺伝子パネル検査による治療到達性を広げるための多機関研究
研究責任者	化学療法科 宮本信吾 (東京大学医学部附属病院・ゲノム診療部 織田克利・ゲノム診療部・部長)
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	この研究は、がん遺伝子パネル検査の結果をがんゲノム医療の向上に役立てるのが目的です。「遺伝子」とは、人間の身体を作る設計図にあたるものです。人間の身体は、約60兆個の細胞からなっていますが、遺伝子は、細胞一個一個の中の「核」という部分に入っています。人間の身体は、この遺伝子の指令に基づいて成長、維持されており、がんは遺伝子の異常でおこることが分かっています。本研究では、がん遺伝子パネル検査の結果をエキスパートパネルがどのように検討して治療の推奨に結びつけているのかを解析することにより、がん遺伝子パネル検査をより多くの患者さんに役立ててもらうことを目指します。
研究方法	<p>本研究は、当院でがん遺伝子パネル検査をされた方が対象となります。研究の方法は以下の通りです：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パネルの種類、遺伝子変異の種類、遺伝子名、エキスパートパネルで推奨した治療内容など、エキスパートパネルの情報を入手する。 2. これまでの診療録(カルテ)に記録されている年齢、性別、治療内容と効果を含む病歴、がん種、TNM分類、病期、他の遺伝子検査、病理検査などの情報を入手する。 3. エキスパートパネルの結果と診療録情報より、新しいがん治療を推奨する上で問題点を明らかにする。 <p>特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。 研究に参加する予定人数：全体で約4000人、当院で約1000人</p> <p>なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、jRCTのホームページをご確認いただくか、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：宮本 信吾 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604